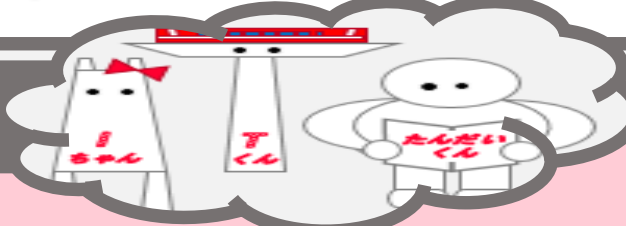
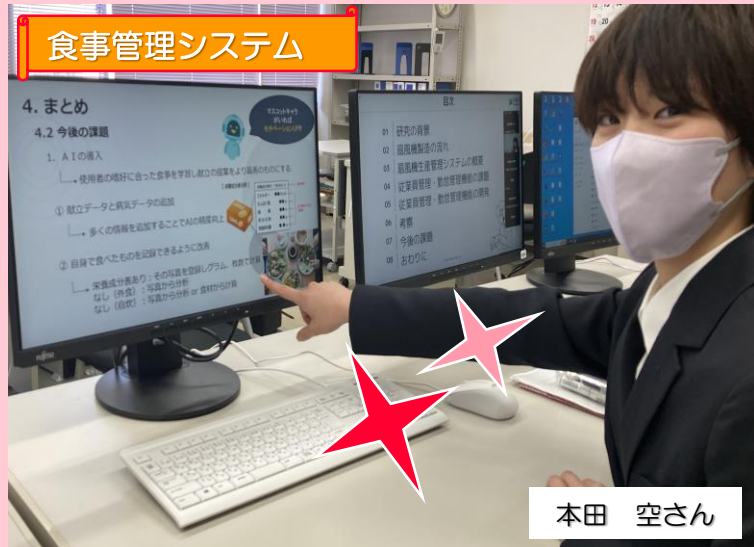




1 活かせるIT技術,成果報告



食事管理システム



本田 空さん

3月8日(水)、卒業研究発表会(2日目:16名)が開催され、IT技術を活かした成果報告がありました。主な研究は次の通りです。

本田 空さん(明秀学園高卒)は、生活習慣病の対策は、食事管理が重要と考え、簡単に早く情報を管理・記録できる食事管理システムを製作しました。具体的には、対話形式で栄養を考えた献立の提案や、一日に摂取する成分をていじするものです。



武田知輝さん(水戸農高卒)は、IT

技術を利用した農作業支援システム(害虫対策)を製作しました。このシステムを運用することで、病虫害の情報が農業従事者間で共有され、害虫駆除等の対策に役立てられます。

日付	2022/11/18
圃場	圃場1
エリア	B2.A3
作物名	キュウリ
病虫害	疫病
画像	
状況	〇〇エリアにてxxが発生。 〇〇の対策を要する。

農作業支援システム



武田知輝さん



卒業研究発表会の様子

2 卒業研究発表からの学び①

本年度の卒業研究発表会は、久しぶりの対面による発表会となりました。2年生は、1年生を前にしっかりと発表していました。これまでの学びの成果が報告となりました。ここでは発表会に出席した1年生の感想を紹介します。

●生産管理コース1年

矢口裕貴さん(石岡二高卒)

今回の卒業研究発表を見て、印象に残った一つは、本田空さんの「食事管理システム」です。利用者の栄養の偏りや、足りてない栄養をデータ化することができます。特に、病状に合わせた食事のアドバイスができるなど、健康を考えた食事プランを提供できるのが素晴らしいからです。

二つ目は、武田知輝さんの「農作業支援システム」です。これからの日本の農業を支えるためにもITは欠かせません。様々な病虫害の状況を農業従事者間で情報共有し、コミュニケーションを円滑にすることは重要だと思います。素晴らしいツールになると思います。

●情報セキュリティコース1年

山田彩乃さん(水戸啓明高卒)

私は、卒業研究の各発表のポイントをノートに書き留めました。全体を振り返ると、今学んでいることが、今後、大いに役立つことが分かりました。

多くの先輩が、Pythonなど新たな言語を使ってシステムを開発していました。

しかし、基礎となるのはC言語であり、授業でしっかりと学び論理的な思考を身に付けることで新しい言語にも対応できたと話されていました。

これからは、C言語をしっかり復習していきたい。そして、来年、私達も卒業研究に取り組みますが、調査研究の段階で時間を取り過ぎないように、知識を身に付けておきたい。

3 事業主推薦で入学 新技術学び卒業!

生産管理コース2年の本田空(明秀学園高卒)さんは、株式会社「エムシーエー」の社員です。

高校三年生時、コロナの影響で進路に悩み調理からITに切り替えました。ハローワークで、本校での研修を要する「エムシーエー」を見つけ、10月末に内定しました。

その後、入学試験にも合格し、ITの新技術等を2年間じっくり学び、基本情報処理技術者試験にも合格し、この春、卒業を迎えます。

本田さんへのインタビューです。

Q1 本校での学びについて

本田さん ITの専門技術が学べ、担当教員からも、聞きやすく熱心に教えて頂きました。また、社会人基礎力を高めるためのワークショップもあり身になる学びとなりました。

Q2 企業と大学の両立について

本田さん 「エムシーエー」は、私達を大切に育てて頂いており感謝しています。授業期間は週一回帰社し報告書を提出し助言を頂いています。学校の休業中は勤務しております。

Q3 卒業後の抱負について

本田さん 私は社会人で研修としてこの大学で学習する機会を頂きました。4月から「エムシーエー」で、大学で学んだことを、仕事に大いに活かしていきたいと思います。

「エムシーエー」のWebページは、アットホームで人を大切に育むポリシーが感じられます。「創造と挑戦」で社会貢献する「エムシーエー」の発展を祈念します。卒業生の皆さん頑張れ!

↓ 株式会社 エムシーエー 社屋

